

フロアヒンジ 300シリーズ 取替説明書

FTMH59-1

一般ドア用

		既設品番	取替品番
自由開き	ストップなし	H-311	H-511CHD
		H-322	H-522CHD
	ストップ付	HS-311	HS-511CHD
		HS-322	HS-522CHD
一方開き	ストップなし	H-315	H-515CHD
		H-325	H-525CHD
	ストップ付	HS-315	HS-515CHD
		HS-325	HS-525CHD
自由開き	ストップなし	H-311CH	H-511CHC
	ストップ付	HS-311CH	HS-511CHC

強化硝子ドア用

		既設品番	取替品番
自由開き	ストップなし	E-311	E-511CHD
		E-322	E-522CHD
	ストップ付	ES-311	ES-511CHD
		ES-322	ES-522CHD
一方開き	ストップなし	E-315	E-515CHD
		E-325	E-525CHD
	ストップ付	ES-315	ES-515CHD
		ES-325	ES-525CHD

取替順序

① 本体

② 既設のフロアプレート

③ 既設のキャップ

④ 既設のネジ

⑤ 既設のボルト・ナット

⑥ 既設のセメントケース

⑦ 長穴

- ① 本体をセメントケースに入れる。
(① 本体の下面のピンをセメントケースの長穴にはめ込んで下さい。)
- 本体後部の ⑤ ボルトと ⑥ ボルト・ナットでセメントケースの前後に突っ張るように固定する。同様に、④ ボルトでセメントケース側面に突っ張るように固定する。
(注:六角ボルトが緩まないように六角ナットを締め込んで下さい。)
- ⑧ フロアプレート(小)を⑨ ネジでセメントケースに取付け、次に③ キャップを取付けて本体の取替は終了です。
- ドアを吊込む。
ドアを吊込み後、閉扉速度調整・ラッチング調整・召合せ調整及びドア幅方向調整が必要な時は裏面をご参照下さい。

※付属スパナをご使用下さい。

本書は必ずお施主様または管理者様にお渡し下さい。

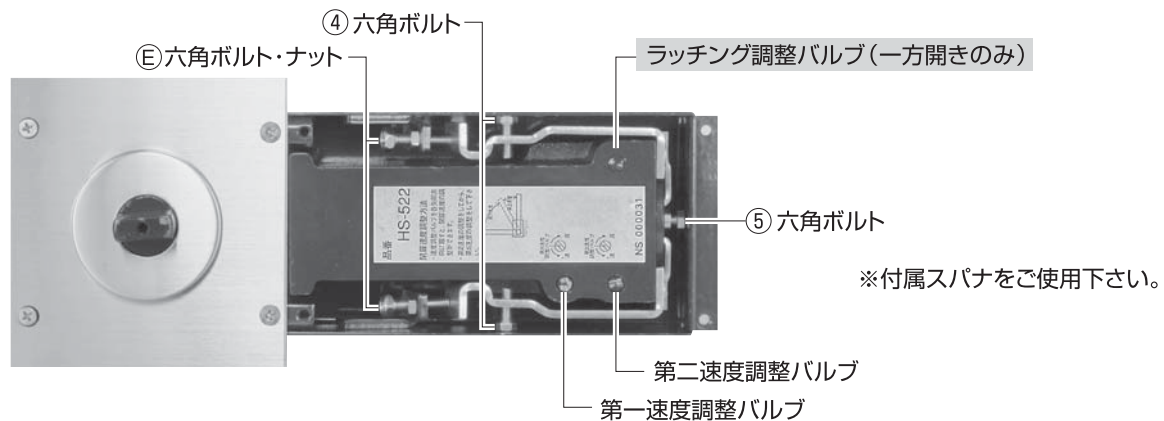
NEW★STAR 日本ドアエック製造株式会社

SINCE 1919
 東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL(03)3871-1411(代)
 (ニュースター東京ビル)
 大阪本社 / 〒544-0014 大阪市生野区箕東三丁目17番10号 TEL(06)6758-1251(代)
 H18.6.3G

札幌支店 / TEL(011)851-8255～6
 北陸支店 / TEL(076)243-2120(代)
 名古屋支店 / TEL(052)981-7531～2
 福岡支店 / TEL(092)271-5491(代)

仙台営業所 / TEL(022)284-7501
 静岡営業所 / TEL(054)238-2751
 広島営業所 / TEL(082)877-1611～2
 高松営業所 / TEL(087)843-1212～3

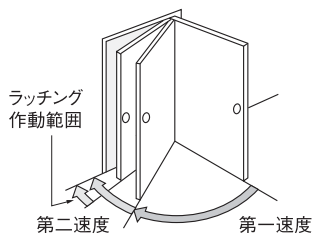
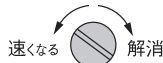
調整のしかた



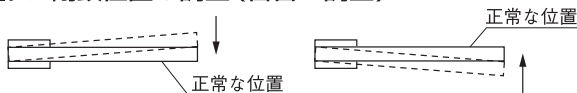
■閉扉速度調整



■ラッチング調整 (一方開きのみ)

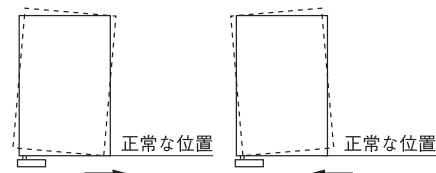


■ドア閉鎖位置の調整 (召合せ調整)

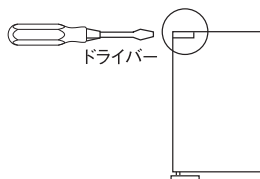


⑤、⑤ ボルト・ナットを少し緩め、④ボルトにて調整する。
調整後、ボルト・ナットを締め付ける。

■ドアと縦枠の隙間(チリ)調整(ドア幅方向調整)



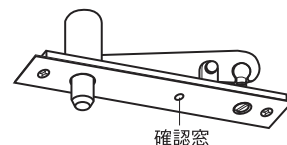
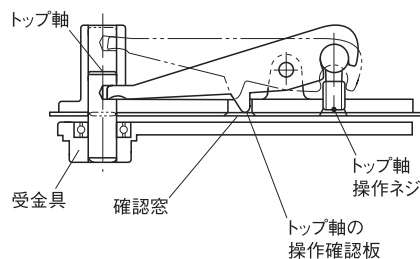
④ボルトを少し緩め、⑤、⑤ ボルト・ナットにて調整する。調整後、ボルト・ナットを締め付ける。



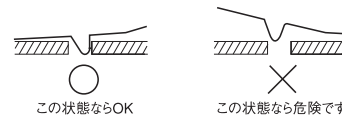
尚、ZI 型トップピボットを使用した場合は、トップピボットドア側でも調整できます。

■ドア倒れ防止・安全確認方法

ドア吊込後、ドアが上下の金具で確実に保持され、倒れ等の事故につながらないかどうか、その安全性を確認する方法です。必ずご確認ください。



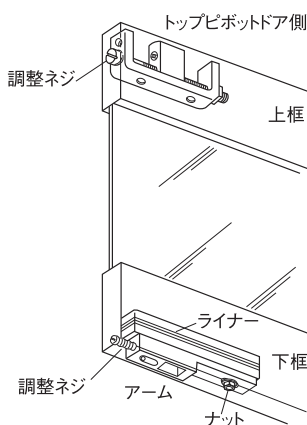
トップ軸が受金具に完全に入り込むようトップ軸操作ネジが回らなくなるまで締め込んで下さい。
トップ軸の操作確認板がおりているか確認窓からチェックして下さい。



強化硝子ドア用

■ドア高さとドア幅方向の調整

- 高さ調整
アームライナーを増減させて調整します。
- ドア幅方向調整
 - 本体を移動して調整。
 - トップピボットドア側の調整ネジを回して調整。
 - アームのナットを緩めて、調整ネジを回しナットを固定して調整。



■上框落下防止について

強化硝子ドアは、硝子が割れると上框が落下する恐れがあり大変危険ですので、下記手順でドアを吊込み、安全を確認して下さい。

1. 上部チリ寸法が 3mm になるようにドアを吊込み、トップピボット上枠側 (上框落下防止対策品) のトップ軸をドア側の軸受けに挿入して下さい。挿入確認は下図参照。
2. 上框の上部サイド穴 (10φ) から、④ドライバーで下図トップ軸の溝にネジがはまりこむように、上框落下防止ネジを締め込んで下さい。
3. 上框落下防止ネジを締め込み後、トップ軸操作ネジでトップ軸を上下させて上へ抜けないか確認して下さい。

